

集団の高まりを実感し自信と誇りを持つ
～違いを認め合い、高まり合う集団での
課題発見・解決学習～

福山市立千年中学校
児童生徒数 204人
TEL 084-987-0025

実践内容

実施目的

- 個々の生徒の能力を伸ばし、社会において自立的に生きるための健康・体力面での基礎を培う。
- 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフ実現のための資質・能力を育成する。
- ・生活上の健康・安全と結び付けて運動の必要性を理解し、運動の楽しさ・喜びを味わい、基本的な技能を身に付ける。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて、思考し判断する力、他者に伝える力を養う。
- ・仲間との切磋琢磨・協働の経験を通して、互いの違いを認め合い、公正・協力を重んじ、自他の体力向上への意欲を高め、健康・安全を確保して生涯に渡って運動に親しむ態度を養う。
- ・所属集団及び自己に対する自信と誇りをリアルに高める。

実施内容

- 【体育祭】異年齢集団で課題発見・解決学習
集団の高まりを実感し、自信と誇りを持つ
 - 個々の生徒が自己の役割を自覚し行動
 - 互いの違いを認め合い高まり合う集団
 - 3年生をリーダーとする異年齢集団を活用「目指される姿」「目指したい姿」実現・実感
 - 自信と誇りを持てる集団パフォーマンス
 - ①大きな声と動作、笑顔で楽しく入場行進
 - ②動作が揃い、動く音が聞こえるラジオ体操
 - ③伝統として根付く集団演舞「きらく」
 - ・能率的で安心・安全で信頼し合える集団としての行動を実現するためには何が必要か、どうすれば良いかを生徒自身が悩み考える場を設定し、3年生をリーダーに解決・向上へ取り組んだ。
 - ・生徒は、心をつなぎ、動きをつなぐ過程で成長し、地域と学校をつなぐ渾身の演技を作り上げた。
- 【授業】体力向上の課題発見・解決学習
保健体育科の授業を核として体力向上に対する自他の課題を発見し解決していく
 - ① 課題発見と解決に向けた仮説を立てる
 - ・発見した課題について、既習の知識や技能等を活用して思考し、解決に向けた仮説を立て他者に伝える場を設定。
 - ・聴く姿勢や他者の意見を尊重する態度を意識。（「違いとの出会い」を「学び」のチャンスと捉える。）

- 仮説に基づいて、教え合いながら実施
 - ・仮説に基づき互いにアドバイスしながら実施。
 - ・自分にできることが他者には難しいなど、違いを受け入れた上で、学び合う。
 - ・自分達に適した解決方法で取り組むことで、運動の多様な楽しみ方を見つけたり工夫したりする。
 - ・上手にできた相手に心から称賛をおくことを通じて共感力、コラボレーション・コミュニケーション力を高める。
- 結果をクリティカルに検証
 - ・向上した事、上手くいかなかった事をクリティカルに検証する場を設定。
 - ・自分の意見を口頭や記述で、他者に伝える。
 - ・他者と自分の考えを比較したり関連付けたりすることで、思考を広げ深めて、合意形成を図る。
- 解決した事、高まったことを喜び合う
 - ・課題解決に向けて、交流する場を設定。
 - ・生徒が個々に達成感を得たり、自己の能力向上に対する自信を持ったりすることを目指す。
 - ・信頼し合い、高まり合う集団を実感。
- 振り返りノート記入
 - ・振り返りの場を確保する時間設定。
 - ・学びを振り返り、自己と対話し、更なる向上、新たな課題等を明確にし、確信を持って次へ。
 - ・振り返った内容は、自己の生活にもつなぐ。

実施上で工夫したこと

- 本校設定の「資質、能力」と結び付けて、体力向上、集団の高まりを実感
 - ・生徒が日常的に高い意識を持ち続けている本校の「資質、能力」と関連付けて捉えることができるように授業のみならずHR等でも啓発。
- 体力レベルに合わせたグループづくり
(意図的に同じレベルでグループを形成)
 - ・体力レベルが近いからこそ実現のための見通しを立てやすく、課題を発見、共有できる。
 - ・劣等感やプレッシャーから解放される。
 - ・教師がグループのレベルに応じガイドを実施。
 - ・レベルの高低より向上する過程に価値を置く。
- 7割の生徒が達成できる目標づくり
(達成困難な課題よりも達成可能な課題)
 - ・課題達成への見通しが立ち、意欲が高まる。
 - ・達成できなかった生徒にも今後の見通しを実感。

主な成果

- 健康、安全と結び付けて、体力向上の必要性を実感としてとらえる生徒が増えている。
- 思いやり、優しさ、助けあいの心を持ち、相手目線で考え互いに高まり合うことができています。
- 失敗しても諦めることなく挑戦する姿勢が定着してきた。
- 目標を達成した仲間の喜びを分かち合い、自分のことのように喜び合うことができています。

- 振り返りでは書くことにこだわり、グループや全体だけでなく、個人の深い振り返りができている。また、問題解決の過程を振り返り、評価改善する態度を養うことができています。
- 体育や行事における自己の学びと成長を「資質・能力」と関連してとらえ、他の教科の学びや自分の生活、さらには将来へと関連付けて学び、成長し続けることへつながっている。



【体育祭】集団の高まりの実感

笑顔の入場行進、見事に揃うラジオ体操、伝統の集団演舞



体育の課題発見・解決学習③ 結果をクリティカルに検証

向上した事、上手くいかなかった事をクリティカルに検証



課題発見・解決学習① 仮説設定

互いの課題を発見し解決に向けた仮説を立て発表し共有



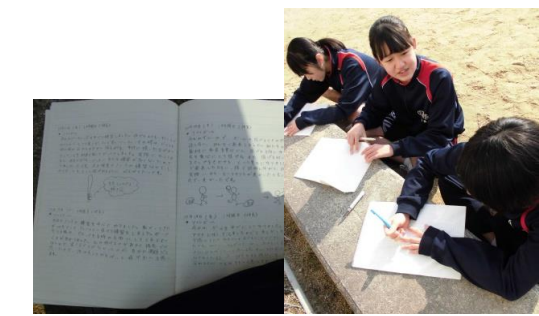
課題発見・解決学習④ 互いに喜び、認め合う

課題解決、向上した事を互いに認め合い、喜び合う集団



課題発見・解決学習② 仮説に基づき実施

仮説に基づいて、互いにアドバイスしながら実施



課題発見・解決学習⑤ 振り返りノート記入

自己の学びを振り返り自己と対話し、次へつなぐ

全校児童生徒における総合評価A Bの割合 (%) の推移

